

と し さ い せ い せ い び け い か く じ ぎ よ う
都市再生整備計画事業 事後評価シート

う な づ き お ん せ ん ち て つ え ん せ ん ち く
宇奈月温泉・地鉄沿線地区

平成25年3月

と や ま く ろ べ し
富山県黒部市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県	市町村名	黒部市	地区名	宇奈月温泉・地鉄沿線地区			面積	912ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	2,695百万円	国費率	0.40%		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	■道路：市道新黒部駅西線、市道舌山愛川線、市道舌山栗林線、市道天真寺歩行者線、新幹線駅東口交通広場、地鉄駅前交通広場、市道浦山25号線、市道浦山5号線、市道栃屋下立線 ■公園：駅東公園(多目的広場含む)、駅西公園、宇奈月公園 ■地域生活基盤施設：P&R駐車場、地鉄沿線駐車場、新黒部駅駐輪場、調整池 ■高質空間形成施設：駅東口交通広場、駅東公園、新黒部駅前線、地鉄駅前交通広場、地鉄駅前遊歩道 ■高次都市施設：若栗交流センター、下立まちおこしセンター						
		提案事業	■地域創造支援事業：天真寺保存修復事業、詩の道遊歩道整備事業、富山地方鉄道沿線活性化事業、観光客等来訪者誘導看板設置、図書コーナー及び地域住民休憩スペース、いづく処改修事業、総湯会館整備事業 ■まちづくり活動推進事業：歩行者回遊促進実験						
	新たに追加した事業	基幹事業	■道路：市道長屋寺坪線、市道若栗19・20号線、市道舌山大越線、市道萩生若栗線		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
提案事業		■地域創造支援事業：地鉄新駅整備事業 ■事業効果分析調査：		事業の熟度が高まったため、新たな事業を追加		指標及び数値目標は据え置く。			
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更								

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	沿線公共施設利用者数	人/年	246,277	H19	252,100	H24		294,084	○	あり	・若栗交流センターなどが整備されたことで、新規イベントの開催が誘発され、地区外からの参加者増加を促進している。 ・富山地方鉄道沿線活性化事業によって、地域資源の発掘が行われるとともに、地域の魅力を伝える場が整備されるなど、住民に愛されるまちづくりが実施されている。	平成25年5月
指標2	沿線イベント参加人数	人/年	8,550	H19	11,800	H24		19,225	○	あり	・新幹線新駅周辺の公共施設整備により、快適な空間が確保され、魅力あるまちづくりが行われている。 ・地鉄沿線の市道整備により、歩車が分離されるなど、安全・安心な空間が確保されている。	平成25年5月
指標3	沿線乗降客数減少の抑制	人/年	736,413	H19	736,400	H24		640,399	△	あり	・H20からH21にかけては66,065(人/年)の減少であったが、富山地方鉄道沿線活性化事業など、本事業開始後のH21からH23にかけては平均して3,861(人/年)の減少となり、減少傾向の抑制が図られた。	平成25年5月

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												

4) 定性的な効果発現状況
都市再生整備計画外で新規イベントが活発に立ち上がっており、平成26年度の新幹線開通に向けて、市全体が一丸となり、新駅を受け入れる体制を整えている状態である。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング		—	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・目標値の達成状況を睨みつつ、必要に応じて実施することを検討する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス		・各種事業の実施前に地元説明会を開催し、新幹線駅周辺整備事業の内容について住民への理解度を深めるとともに、事業への共同意識の向上を図った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・今後とも事業に対する住民の理解を深めるとともに、住民の意向を反映させるため、地元説明会を開催しながら事業を進める。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築		・北陸新幹線新黒部駅(仮称)東側地区における地権代表者、町内代表者等を中心とした関係者の参加のもと、「北陸新幹線新駅東側地区景観形成協議会」を設立し、新駅東側の景観を守るための規制・誘導のあり方を検討した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・地権者合意により締結に至った景観まちづくり協定書により、北アルプスの美しい眺望を保全し、周辺の田園等の景観との調和を図り、新幹線駅にふさわしい土地利用の実現を目指す。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

宇奈月温泉・地鉄沿線地区(富山県黒部市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<ul style="list-style-type: none"> 観光開発などにより、エリア内への来訪者数の増加を図る。 各種事業の実施により、魅力ある地域づくりを図る。 イベント等の実施により、乗降客数の減少をくい止める。 	沿線公共施設利用者数	単位:人/年 246,277 H19	252,100 H24	294,084 H24
	沿線イベント参加人数	単位:人/年 8,550 H19	11,800 H24	19,225 H24
	沿線乗降客数減少の抑制	単位:人/年 736,413 H19	736,400 H24	640,399 H24

関連事業
○ 関連事業 黒部宇奈月温泉観光シャトル
○ 関連事業 黒部ワンコインプロジェクト (NPO法人黒部まちづくり協議会)

基幹事業 (道路)
市道新黒部駅西線 市道舌山愛川線 市道舌山栗林線
新幹線駅東口交通広場線 地鉄駅前交通広場線
市道天真寺歩行者線 市道長屋寺坪線
市道舌山大越線 市道若栗20号線 市道若栗19号線
市道若生若栗線
(地域生活基盤施設)
駅前駐車場 (駅西3箇所)
(公園)
駅東公園 駅西公園
(高質空間形成施設)
新幹線駅東口交通広場

提案事業 (地域創造支援事業)
地鉄新駅整備事業

基幹事業 (高次都市施設)
宇奈月公園
提案事業 (地域創造支援事業)
詩の道遊歩道整備

基幹事業 (高次都市施設)
下立まちおこしセンター
提案事業 (地域創造支援事業)
図書コーナー及び地域住民休憩スペース
基幹事業 (地域生活基盤施設)
富山地方鉄道沿線駐輪場

基幹事業 (道路)
板屋下立線
基幹事業 (道路)
浦山5号線
基幹事業 (道路)
市道浦山25号線

提案事業 (地域創造支援事業)
富山地方鉄道沿線活性化事業
関連事業
内山林業コミュニティセンター

基幹事業 (高次都市施設)
若栗交流センター
提案事業 (地域創造支援事業)
天真寺保存修復事業

関連事業
○ 関連事業 県道黒部宇奈月線 (県)

凡例
■ 基幹事業
■ 提案事業
--- 関連事業

道路: 市道長屋寺坪線

公園: 宇奈月公園(照明施設整備)

高次都市施設: 若栗交流センター

高次都市施設: 下立まちおこしセンター

地域創造支援事業: 天真寺保存改修事業

地域創造支援事業: H22.7~黒部の鉄道展

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 黒部峡谷や宇奈月温泉を中心とした観光地としてこれまで歩んできたが、観光のニーズの変化に対応できず、宿泊客数が低迷しており、北陸新幹線開業によるストロー現象を含めて、対応策が必要となっている。 少子化・高齢化や他地区への転出等による人口が減少、過度のモータリゼーションの進展による地鉄利用者の減少に歯止めをかけるため、魅力ある地域づくり、地鉄沿線の地域活性化が急務となっている。 北陸新幹線の開業が平成26年度に迫っており、富山県東部駅として位置付けられている(仮称)新黒部駅から県東部各地への2次交通機関として存続を図っていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>新市建設計画(「新市まちづくりの基本方針」より)</p> <p>国際観光・交流が盛んに行われている素地を活かし、本地域の場のみならず、交流の場としても位置づけ、県内及び上信越・関東、関西・中京地域との地域間・都市間交流に加え、環日本海沿岸地域や、姉妹都市間の国際交流を充実させ、魅力的な出会いの舞台として、多くの人々の共感を得ることのできるまちの実現を目指す。</p> <p>また、北陸自動車道や北陸新幹線を高速交通拠点として持つ都市の地理的優位性、光ファイバー網などの高度情報通信基盤を活かし、異業種間における「人・モノ・情報の交流と連携」を積極的に推進し、地域特性を活用した産業の振興、新産業・新たな付加価値の創出を図りながら、活力とにぎわいのあるまちの実現を目指す。</p> <p>さらに、名水ロードレースや生地まち歩き、宇奈月温泉冬物語などのイベントや祭りなどの充実と観光資源のネットワーク化を図るとともに、市民参画による交流機会の拡大を目指していく。</p>